

2025年5月26日

<サステナビリティ情報>

報道関係者各位

三陽商会

2023 年度の温室効果ガス排出量において**第三者検証報告書を取得**

株式会社三陽商会（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：大江伸治）は、2023 年より「持続可能な地球環境への貢献」をマテリアリティの一つに掲げ、事業活動に伴う温室効果ガス（以下 GHG）排出量の削減を通して気候変動対策に取り組んでいます。

この度、GHG 排出量の 2023 年度 Scope 1・2・3（カテゴリ 1～7・11・12・15、連結・非連結子会社を含む）について、排出量データの信頼性向上を目的として、一般財団法人日本品質保証機構（JQA）に第三者検証を依頼し、検証報告書を取得いたしました。

本検証は、国際的な基準である「ISO14064-3」に準拠して実施されており、この取得は、当社がステークホルダーの皆さまに提供するデータの正確性と信頼性を一段と高めるものです。

当社は今後も、GHG 排出量削減目標の達成に向けた活動を推進するとともに、定量情報のモニタリングおよび透明性の高い情報開示を行ってまいります。

JQA 温室効果ガス排出量検証報告書：https://www.sanyo-shokai.co.jp/uploads/Sanyo_JQA_Verification_Report_0526.pdf**■ 第三者検証を実施した 2023 年度 Scope 1・2・3 GHG 排出量実績**

単位：t-CO2

Scope	2023年度
Scope1	928
Scope2 ロケーション基準	1,844
Scope2 マーケット基準	1,574
Scope1+2 合計	2,501
Scope3（カテゴリ 1～7・11・12・15）合計	37,295

- ・Scope1：事業者自らによる GHG 直接排出
- ・Scope2：電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- ・Scope3：サプライチェーン上での排出等

<検証範囲>

- ・対象範囲：株式会社三陽商会 及び 連結・非連結子会社 3 社
- ・対象期間：2023 年 3 月 1 日～2024 年 2 月 29 日

- ・対象項目：エネルギー起源 CO2 を対象とした温室効果ガス（GHG）排出量
（Scope1・2・3 カテゴリ 1～7・11・12・15）

TCFD 提言に沿った情報開示：

<https://www.sanyo-shokai.co.jp/sustainability/environment/tcfcd/>

■ 温室効果ガス排出量削減の取り組みと中期目標

三陽商会は、2023 年より「持続可能な地球環境への貢献」をマテリアリティの一つに掲げ、事業活動に伴う GHG 排出量の削減を通して気候変動対策に取り組んでいます。

省エネ推進のため、店舗やオフィスに LED 照明を導入し、2024 年 12 月には本社ビルを再生可能エネルギー 100% 電力に切り替えました。また、環境配慮型素材の使用、在庫・廃棄削減、プラスチック使用削減とリサイクルを推進しています。さらに、サプライチェーン全体での GHG 排出量削減を目指し、自社工場のモデル化を進めています。

<2030 年度温室効果ガス（GHG）削減目標>

- ・2030 年度までに Scope1・2 の GHG 排出量を 2019 年度比 52%削減
- ・2030 年度までに Scope3（カテゴリ 1・3・4・12）の GHG 排出量を 2019 年度比 30%削減

温室効果ガス排出量の削減：

<https://www.sanyo-shokai.co.jp/sustainability/environment/ghg/>

三陽商会のサステナビリティ：

<https://www.sanyo-shokai.co.jp/company/sustainability/>

■ 株式会社三陽商会 概要

『ファッションを通じ、美しく豊かな生活文化を創造し、社会の発展に貢献します。』という経営理念のもと、「いつの時代でも変わらぬ価値のあるものづくり」を目指して事業を推進している総合アパレルメーカーです。

本社所在地：東京都新宿区四谷本塩町 6-14
設立年月日：1943 年 5 月 11 日
代表者：代表取締役社長 大江 伸治
事業内容：紳士服・婦人服及び装飾品の製造販売
全国の百貨店、専門店、直営店での製品の販売
公式 WEB サイト：<https://www.sanyo-shokai.co.jp/>

SANYO

以上

<この件に関する消費者からのお問い合わせ先>

株式会社三陽商会 カスタマーサポート：0120-340-460 受付時間：11：00-17：00（平日のみ）